

総合計画検討懇談会の意見まとめ

NO.	章	節	項目	主な意見	中間案への反映状況
1	全体			評価指標は、アウトプット指標が多いため、成果を図るアウトカム指標の設定を検討いただきたい。	現在指標の見直しを進めており、可能なものはアウトカム指標を設定できるよう検討しています。
2	1	1	施策の背景	「性自認」という言葉については、用語解説があったほうがいいのではないかと。	前期基本計画と同様、巻末に用語集を掲載する予定であり、「性自認」についても用語集に加える。(以下同様の場合は「用語集にて対応」と記載)
3	1	1	施策の背景	国の名前は出さずともすべての人が安心して平等な生活を送れるといった、海外の人もイメージした書きぶりができれば、人権・平和の尊重に関しての中身があるように思う。世界が慌ただしくなる中で何も反応しないというのもどうかと思う。	ご意見を踏まえ、施策の背景の一番最後に、以下の内容を追加。 世界の各地で紛争が発生する中、隣国の北朝鮮からは、日本海に向けたミサイルの発射が頻発するなど緊張が高まっています。
4	1	1	1	日本語の習得や文化を知ってもらい日本に溶け込んでもらうというだけでなく、市のイベントの中で互いの文化を発信し、相互交流し、相互敬愛、お互いが知り合って認め合っていくということが大事ではないか。自分たちに合わせなさいということではなく、お互いのアイデンティティを知り認めて尊敬しあうこと。そういう場が必要ではないか。現状は、こちらに合わせなさいという書き方に見える。	ご意見を踏まえ、【現状と課題】を以下のとおり修正。市では、昭和57年(1982年)9月に府内市町村で初となる非核平和都市宣言を行い、関係団体と連携しながら平和の啓発を進めてきました。 世界の様々な地域で紛争が発生するなど、平和の大切さが改めて問われる中、引き続き、関係団体との連携により平和構築への関心を喚起し、平和の尊さを次の世代に伝えていく必要があります。
5	1	1	1	外国人居住者についてはコミュニケーションの場を設けて八幡市に永住してもえる位に接点を作ることが大事ではないかということについてはもちろんである。	ご意見を踏まえ、【現状と課題】において、以下のとおり修正。さらに、市内における外国人住民が増加傾向にあり、技能実習生だけでなく家族で来日するなど外国人住民の置かれている状況が複雑になってきています。友好都市との交流をはじめとした、 お互いの生活や文化を知り認め合う機会の創出 など、外国人との相互理解や交流を促す取組はさらに重要となってきています。
6	1	1	1	在住外国人が増加する中での住民同士の支え合いについての取組が必要ではないか。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・外国人の生活・就労・就学のための日本語習得支援や外国人との相互理解を深める機会を創出するなど、地域で孤立せず、共生できる環境の整備を進めます。
7	1	1	3	障がい者の「親亡き後」について、一家庭ではケアできなくなっているため、支援を検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・障がい児・者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域が抱える課題に向き合い、障がい児・者とその家族が地域で安心して生活できるよう、地域生活支援拠点を中心に相談支援の充実を図ります。
8	1	2	1	自治組織団体への加入促進に関する具体的な記載はあるか。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・自治連合会との連携により、自治組織団体への加入の促進など地域コミュニティ活動の充実に関する地域の取組への支援を進めます。

NO.	章	節	項目	主な意見	中間案への反映状況
10	1	2	2	各コミュニティでの役職の高齢化と若い方の参加について対策を検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・防災・防犯、環境、福祉など、多様な分野における市民協働が進むよう、社会福祉協議会等を含めた組織間の連携を通じて、NPO・ボランティアなどの担い手組織や人材の育成を進めるとともに、市民協働活動センターの利用促進を図ります。
11	1	2	2	高齢化による担い手問題への対策を検討いただきたい。	
12	2	1	施策の背景	ヤングケアラーについて、年齢がいくつぐらいまでをヤングケアラーというのかわからない。書かれている場所としてはかなり幼年期を指しているように思うが、説明してもらった内容でいけば、もう少し違う場所にあったほうがいいのではないか。	第2章第1節は、家庭への支援を含む節となっており、ヤングケアラーについては、家庭への支援に関する項目として第2章第1節①妊娠・出産・育児サポートで取扱うこととします。
13	2	1	1	ヤングケアラーとされている子どもへの支援を考えていかなければいけないのではないか。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・関係機関と連携し、ヤングケアラーへの対応など子どもの貧困対策を進めます。
14	2	1	2	待機児童「0」について、少子化や子育て世代が住みやすい街へ転出した結果という可能性はないか。人口が減少している現在の状況に合わせた指標設定になっているか検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・「八幡市立就学前施設再編の基本方針」に基づき、公立就学前施設の認定こども園化を基本とした再編を進めます。また、【施策の進捗を図る指標】において、「認定こども園の数」を採用。
15	2	2	1	GIGAスクールについては用語が難しいと思うので、少なくともGIGAスクールとは何かについては分かるようにしてもらいたい。	用語集にて対応
16	2	2	1	学校6年生の学力の低下が顕著であることが分かるが、資料1の24頁で少し触れてはいるものの、これでは書き方が足りないのではないか。異常値であれば構わないが、より一歩進んだ記載が必要なのではないか。	【現状と課題】において、全国学力・学習状況調査の結果が京都府平均を下回ることが多く、更なる取組が必要な状況です。と記載し、課題と認識しています。また、計画には記載しませんが、令和5年1月に組織改正を行い、就学前後の教育・保育・子育てに関する業務を一元的に担う組織を構築することとしており、就学前から小学校への連携の強化を通じ、子どもの学力や生きる力の育成につなげていきたいと考えています。
17	2	2	1	6年生の学力の低下については、非常に大きな問題であると思う。なぜそうなっているのかという分析とともに具体的にどう引き上げるのかということも、教育委員会に対してアドバイスしていかなければならないのではないか。	
18	2	2	2	他市において連れ去り事件も発生していることから、子どもへの防犯対策などについて取り組んでいただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・子どもの生きる力を育てるため、魅力ある学校づくりを進める中で、学力向上や豊かな人間性の育成に向けた様々な取組を展開するとともに、社会のニーズに応じた教育を推進します。
19	3	1	1	健康づくりの指標について、現状を踏まえた指標を検討いただきたい。	ご意見を踏まえ、【施策の進捗をはかる指標】を以下のとおり修正。 健康づくりインセンティブ事業参加者数の目標値を2,000人から 5,000人 に見直しを行った。 また、健康づくりの取組成果について、新たな指標を検討しています。

NO.	章	節	項目	主な意見	中間案への反映状況
20	3	2	2	子どもに世話をしてもらった時代ではなく なっており、成年後見制度もまだ広く 理解されている状況ではない。財産面や 終末期医療などの医療面の他、健康な方 も含めて安心して最期を迎えられるよう 先進的な取組を検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・高齢者が地域で安心して暮らせるようにするため、絆ネット ワーク構築支援事業の一環として取り組んでいる住民主体で 行う見守り活動などを促進します。 ・年齢により判断能力が十分でない高齢者が地域で安心し て暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ります。
21	3	2	2	高齢化社会を迎えるにあたっての体制整 備を検討いただきたい。	
22	3	2	2	「地域包括ケアシステム」について、市 民、住民自治組織、医療機関、行政等の 地域社会における各主体の連携と協働 の体制づくりや市民の意識変革に組み 込んでいただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・在宅医療・介護連携を目的とした多職種連携在宅療養支 援協議会や地域ケア会議の開催により、関係機関の連携を 推進します。
23	4	1	1	シビックプライド醸成の成果を捉える指標 については、市民が郷土に対する誇りと 愛着を持つに至った経緯をインタビュー やアンケートによって、きめ細かく丁寧 に把握し、市の施策の有効性を測るよう な工夫が必要ではないか。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・幅広い年代層が歴史や文化芸術に触れる機会を創出する ため、市民ニーズに応じた、市民の誰もが気軽に参加できる 事業の展開に努めます。 また、【施策の進捗をはかる指標】において、「わがまち・八幡 への愛着や誇りを感じる市民の割合」を採用。
24	4	1	2	お茶の京都や舟運などの広域連携にお いて、八幡ならではのお茶の文化など独 自性を出していく必要があるのではない か。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・市民や観光客が「八幡のお茶」を理解し、興味を持つことが できるよう、八幡市産てん茶を使用した茶会・茶香服など気 軽に茶文化を体験できるイベント等の実施を進めます。 ・日本遺産である「流れ橋周辺に広がる浜茶の景観」を活か し、やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」や石清水八幡宮、 松花堂庭園茶室を拠点とした茶文化の魅力発信を進めます。
25	4	1	2	若い力を使ったイベント、小堀遠州等に フォーカスした情報発信等いろいろと意見 をいただいたので、もう一步踏み込んで 検討をお願いしたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレ ガシー形成事業」で検討した、松花堂昭乗や小堀遠州ゆかり の茶室で「空中茶室」と呼ばれる「閑雲軒(遺構)」について、 八幡の茶文化の発信とともにPRに努め、市民とともに、「新・ 空中茶室」創造に取り組めます。
26	4	1	3	舟運の整備については具体的な検討を 進めていただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・市民・来訪者が自然や歴史・文化・観光関連施設等を安全 で安心して周遊できるよう、河川・緑地空間・既存道路を利用 し、自転車・歩行者道の整備に取り組むとともに、舟運や水 辺の賑わいづくりと連携した河川空間の整備を推進します。

NO.	章	節	項目	主な意見	中間案への反映状況
27	4	2	1	「観光まちづくりを進める体制づくり」において、市民が魅力を見つける事につながる表現の追加を検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・観光まちづくりの重要な主体である市民に対して、観光資源の魅力周知や、観光まちづくり意識の醸成を図ります。
28	4	2	1	観光情報等がわかるポータルサイトを構築し、市内観光の周遊につながる取組を検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・SNSやVR、YouTubeなどの動画による発信を積極的に行うとともに、八幡ストーリー&ガイドなどによる魅力発信や観光施設への誘導を図ります。
29	4	2	2	観光資源の開発、観光の魅力の深掘りを一層進める必要があるのではないかと。観光資源の活用だけでなく開発についても検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業で検討を進めた「新・空中茶室」創造と、男山四十八坊跡や森林を活かしたにぎわいづくりを推進します。 ・市民・NPO・事業者等による観光資源を活かしたイベント、収穫体験など体験型農業をはじめとした体験プログラムの開発・開催促進など、滞在型の観光施策の充実を促進します。 ・石清水八幡宮を中心に社寺等のネットワークの形成を図り、新たな観光資源の更なる掘り起こし・磨き上げを進めます。 ・「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」を踏まえ、京阪石清水八幡宮駅界隈から東高野街道沿いの古民家などの遊休資源を活用するなど観光地としての魅力向上に向けた環境整備を検討します。
30	4	2	2	舟運という表現にくっつけて、以前に盛んであったというような、歴史的背景について記述いただきたい。	ご意見を踏まえ、【主な取組と方向性】を以下のとおり修正。 観光協会や近隣市町など関係機関との連携を強化し、やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」及び日本遺産である「流れ橋周辺に広がる浜茶の景観」を活かしたイベントの実施、 かつて物流の主流であった淀川舟運 の活性化など、お茶などの文化資源や三川合流域などの景観資源等をつなぐ周遊型の広域観光を進めます。
31	4	2	2	2025年の大阪・関西万博を控え、新しい交通手段として、舟運への期待が高まっている。広域連携のきっかけにもなり、今後の支援や推進が期待されるのではないかと。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・令和7(2025)年の大阪・関西万博に向けて、国や府、近隣市町村と連携し、舟運を核とした広域連携を進めます。
32	4	2	2	農業のところには書かれているのだろうが、観光と農業ということが取り上げられていない。体験型観光がトレンドであるのは確か。観光基本計画内には書かれているのかもしれないが総合計画内には抜け落ちていた。少し表現を工夫いただきたい。	ご意見を踏まえ、【主な取組と方向性】を以下のとおり修正。 ・市民・NPO・事業者等による観光資源を活かしたイベント、 収穫体験など体験型農業をはじめとした 体験プログラムの開発・開催促進など、滞在型の観光施策の充実を促進します。
33	4	2	2	古民家の利用など観光面での取組を検討いただきたい。	ご意見を踏まえ、【主な取組と方向性】を以下のとおり修正。 ・「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」を踏まえ、京阪石清水八幡宮駅界隈から東高野街道沿いの 古民家などの遊休資源を活用するなど 観光地としての魅力向上に向けた環境整備を検討します。
34	4	2	2	古民家について、2025年の大阪・関西万博に向けた活用法を検討いただきたい。	ご意見を踏まえ、【主な取組と方向性】を以下のとおり修正。 ・「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」を踏まえ、京阪石清水八幡宮駅界隈から東高野街道沿いの 古民家などの遊休資源を活用するなど 観光地としての魅力向上に向けた環境整備を検討します。

NO.	章	節	項目	主な意見	中間案への反映状況
35	5	1	1	記載内容は商工会の取組内容であり、工業会の位置づけや取組み内容についての記載を追加した方が良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、【現状と課題】を以下のとおり修正。 商工業振興のためには、新たな活力の担い手を育む必要もあり、今後、商工会並びに市東部工業団地に立地する企業が多く加盟する工業会所属事業者における地元雇用の促進を強化するとともに、「創業支援等事業計画(平成28年)」に基づき、山城地域の各支援機関等と連携しながら創業の推進や支援に取り組むことが重要です。
36	5	1	1	意欲のある若い学生たちが就業を選ぶだけでなく、自ら起業する所までの協力、支援が出来れば、高齢化した団地が、若い人たちのエネルギーで大きく活性化するのではないかと。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・チャレンジ精神にあふれた起業家の輩出に向け、起業支援など商工会事業の充実と起業に係る経済的支援を推進します。
37	5	1	2	中小企業の事業承継や跡継ぎの問題が農業にもあると思う。若手育成という記載はあるが農業者の事業承継、農業技術の引き継ぎ支援について加えていただきたい。	【現状と課題】において、以下のとおり記載。 ・就農者数の増加などを図るためには若い担い手の確保や育成が必要であり、地域農業担い手認定者支援事業等を通じ、認定農業者・新規就農者の掘り起こしや育成等に取り組むとともに、スマート農業の導入等を通じて、農家の新たな経営規模拡大等の取組を支援してきました。
38	5	1	2	農業振興について、確かな品質やブランド力があれば、多少値段が高くてもしっかりと買ってくれるのではないかと。後継者問題も含め、若手にも魅力的に感じられる元気な農業やブランド力の向上・アピールが必要ではないかと。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・八幡市地域担い手総合育成支援協議会などの関係団体等との連携により、認定農業者及び新規就農者の確保・育成を進めます。
39	5	2	1	八幡市が持つ企業誘致上の利点を最大限に活用し、京都府とも連携しながら企業誘致に取り組んでいただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・八幡京田辺JCT・IC及び八幡東IC周辺の土地利用を想定した都市計画決定・変更を行い、競争力のある工業・商業基盤の整備を進めます。 ・京都府市町村企業誘致推進連絡会議と連携し、優良企業の誘致を進めます。 ・地域未来投資促進法等も活用し企業誘致を推進します。
40	5	2	1	減少する生産年齢人口の確保のため、魅力ある八幡市にしていくには、働く場を提供するのが一番ではないかと。雇用を生む企業の誘致など産業振興に力を入れていただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・京都府市町村企業誘致推進連絡会議と連携し、優良企業の誘致を進めます。 ・地域未来投資促進法等も活用し企業誘致を推進します。
41	6	1	2	温室効果ガス等の排出ゼロを目指すゼロエミッション政策は、地球環境の保全保持を図るために避けることのできない道であると言われている。「誰も取り残さない」社会を目指すSDGsの理念を実現するためにも持続可能な循環型社会の構築は不可欠であり、廃棄物に関する3Rの取り組みなどについて、これまで以上に市民の理解と協力を得ていく市としての姿勢が必要ではないかと。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・ごみの減量に向け、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の中でも、減量と再使用を積極的に推進します。 ・プラスチックごみの使用抑制と循環に向け、市民・事業者への啓発や、市関連事業における使用抑制に努めます。
42	6	2	1	犯罪抑止には地域のつながりが大きな力を発揮するとの研究成果があるが、現実にはコミュニティの希薄化が顕著となっているため、犯罪防止におけるコミュニティ機能の強化・充実に取り組んでいただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・地域における様々な主体が連携した防犯活動の促進と担い手の育成を支援します。

NO.	章	節	項目	主な意見	中間案への反映状況
43	6	2	2	大規模災害発生時には常設消防力などでは対応が困難となり、自助、共助、公助の効果的な組み合わせが必要である。防災の面でも、防犯同様に自主防災組織など地域の力を結集する工夫が必要であるため、自治防災組織の整備や防災・減災対策に関する協定の締結などに取り組んでいただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・災害時の広域的な連携・支援が図られるよう、多様な機関との広域的な災害対応ネットワークの構築を進めます。 ・自主防災組織による防災活動の活発化や地区防災計画の策定を促進します。 また、【施策の進捗を図る指標】において、「福祉避難所協定締結施設数」を採用。
44	6	3	1	男山団地の再生については、在住外国人の増加や新しい働き方、新しい暮らし方などを包括しながら進めていただきたい。	全体の取組としては、第1章第1節①に記載。男山地域における取組としては男山地域再生の取組の1つであり、【主な取組と方向性】において、以下の記載に包含しています。 ・京都府を立会人とする関西大学・独立行政法人都市再生機構西日本支社・八幡市による男山地域まちづくり連携協定に基づく各分野の取組を進めます。
45	6	3	1	市営住宅について、老朽化が進んでいるため対策を検討いただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・安全で快適な住まいを長く確保するため、市営住宅等長寿命化計画に基づき、非木造市営住宅の長寿命化を図ります。
46	6	3	1	市営住宅等耐震化棟数の指標について、分母が分からないため成果が見えづらいのではないか。	ご意見を踏まえ、市営住宅等耐震化の割合を指標とすることを検討しています。
47	6	3	2	持続可能な生活基盤の整備は安心で安全な市民生活の実現のために必要不可欠であると思う。人口動態なども見据えながら、公共施設の統廃合、民営化、指定管理者制度の導入など、既存施設の合理的・経済的な管理に取り組んでいただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・「八幡市公共施設等総合管理計画」及び「八幡市個別施設計画」に基づき、施設分類別の適正な配置及び計画的な保全を推進するとともに、旧小学校施設の今後のあり方について具体的な検討を行います。 ・各施設の利用状況や必要性を考慮した優先順位付けを行うとともに、「八幡市建築物耐震改修促進計画」の目標を踏まえ、早期の効率的かつ効果的な耐震化を図ります。 ・公共施設等の整備・運営に民間の資金や創意工夫を活用することにより、効果的かつ効率的で良好な公共サービスを実現するため、官民連携手法の導入を検討します。
48	6	4	2	情報化、国際化、少子化が急激に進む日本社会において、政策主体としての基礎自治体の力量が問われる時代を迎えている。時代の変化を的確にとらえて、政策として立案実行できる体制と人材の育成が基礎自治体では喫緊の課題となっているため、人材育成や他の自治体、大学等との連携に力を入れていただきたい。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・職員の基礎能力及び政策立案能力、業務改善能力等の向上のため、充実した職員研修に取り組めます。 ・複雑かつ多様化した諸課題に的確かつ機動的に対応するため、複数の部署による連携組織の設置等、組織横断的な取組を推進します。
49	6	4	3	進捗管理にあたっては、職員や市民に構想と計画内容を広く知っていただき、しっかりと理解を得ていく工夫が必要ではないか。	【主な取組と方向性】において、以下のとおり記載。 ・第5次八幡市総合計画及び各個別計画の進捗確認を行い、評価及び効果を検証し、その結果を公表します。